

I 口 演

伊東裕二：OCT-HS100 の使用経験，第 117 回日本眼科学会ランチョンセミナー，東京，平成 25 年 4 月 4 日.

安藤良将，久須見有美，柴田朋宏，井上真，島田典明<sup>1</sup>，丸子一郎<sup>2</sup>，平形明人，大野京子<sup>1</sup>，飯田知弘<sup>3</sup>(<sup>1</sup>東京医歯大，<sup>2</sup>女子医大，<sup>3</sup>福島県医大)：Intrachoroidal cavitation に合併した黄斑剥離の症例の臨床的特徴. 第 117 回日本眼科学会総会，東京，平成 25 年 4 月 4-7 日.

折原唯史，廣田和成，横田怜二，國田大輔，伊東裕二，利井東昇，平岡智之<sup>1</sup>，井上真，平形明人(<sup>1</sup>平岡眼科医院)：強度近視眼の有水晶体眼における裂孔原性網膜剥離の検討. 第 117 回日本眼科学会総会，東京，平成 25 年 4 月 4-7 日.

平形明人：糖尿病網膜症. 眼科専門医志向者トレーニングコース，第 117 回日本眼科学会総会，東京，平成 25 年 4 月 4-7 日.

平形明人：Swept Source OCT 観察の感動. 第 117 回日本眼科学会総会，東京，平成 25 年 4 月 4-7 日.

山本亜希子，岡田アナベルあやめ，利井東昇，横田怜二，杉谷篤彦：滲出型 AMD に対するラニビズマブ 3 回投与後視力不良例の特徴とその経過，第 117 回日本眼科学会総会，東京，平成 25 年 4 月 4-7.

慶野博：シンポジウム 5 眼炎症制御に関与する因子・遺伝子アップデート難治性眼炎症疾患に対する Foxp3 陽性制御性 T 細胞による免疫抑制療法の可能性，第 117 回日本眼科学会総会，東京，平成 25 年 4 月 4 日-7 日.

岡田アナベルあやめ：英文論文のレビュー（査読）：Top 10 Dos and Don'ts. 教育セミナー「学術論文の作り方」，第 117 回日本眼科学会総会，東京，平成 25 年 4 月 5 日.

山田昌和：成人眼検診プログラム，シンポジウム，眼科医療における費用対効果，第 117 回日本眼科学会総会，東京，平成 25 年 4 月 5 日.

井上 真：行き過ぎた retinotomy? RETINA の会，東京，平成 25 年 4 月 5 日.

平形明人：眼外傷総論. 専門医制度第 58 回講習会，東京，平成 25 年 4 月 6 日.

井上 真：黄斑疾患の手術と進歩，第 117 回日本眼科学会総会サブスペシャルサンデー：後眼部疾患、サージカルレチナ，東京，平成 25 年 4 月 7 日。

Hiroshi Keino: Evaluation of choroidal thickness in Vogt-Koyanagi-Harada disease and Sympathetic Ophthalmia by enhanced depth imaging - OCT (EDI-OCT) International Workshops and Granulomatous Uveitis and Ocular Behcet's disease and Asia-Pacific Intraocular Inflammation Study Group. 8<sup>th</sup> International Workshop on Vogt-Koyanagi-Harada disease and sympathetic ophthalmia Kaohsiung, Taiwan, April 12-13. 2013.

Hirakata A: Remembrance of Japan's Great Leader in Retina- Professor Tetsuo Hida and Yasuo Tano. The 20th anniversary of the retina center at Pali Momi, Waikiki USA, 2013.4.12-14.

Hirakata A: Vitrectomy without laser treatment of gas tamponade for macular detachment associated an optic disc pit. The 20th anniversary of the retina center at Pali Momi, Waikiki USA, 2013.4.12-14.

Hirakata A: Myoschisis: Myopic traction maculopathy. The 20th anniversary of the retina center at Pali Momi, Waikiki USA, 2013.4.12-14.

山田昌和：ドライアイ：治療戦略アップデート，第 7 回四国 Eye ランドセミナー，高松，平成 25 年 4 月 14 日。

富田茜，柳沼重晴，今野公士，中山真紀子，木村奈津子，平形明人，甲能直幸（杏林大学医学部耳鼻咽喉科学教室）：副鼻腔炎に合併し急激に失明に至った眼窩蜂窩織炎の 1 例，第 4 回東京多摩眼科連携セミナー，三鷹，平成 25 年 4 月 20 日。

山田昌和：ドライアイ治療の最新戦略，第 59 回愛媛県眼科集談会，松山，平成 25 年 4 月 21 日。

Keino H, Sato Y, Okada AA: IL-2/IL-2 Ab complex plus rapamycin ameliorate experimental autoimmune uveoretinitis associated with expansion of CD4+Foxp3+ regulatory T cells, ARVO, Seattle May 4-8. 2013.

Inoue M, Hidaka J<sup>1</sup>, Hirakata A (<sup>1</sup>HOYA Corp., Tokyo, Japan.): Restoration of acrylic intraocular lens injected through cartridge. ARVO 2013 Annual Meeting, Seattle USA, 2013.5.5-9.

井上 真：小切開硝子体手術の進歩，第3回水道橋眼科フォーラム，東京，平成25年5月16日。

平形明人：乳頭ピット黄斑症候群における眼内液と脳脊髄液の交流の可能性，第5回東邦大学佐倉病院眼科フォーラム，千葉市，平成25年5月18日。

山田昌和：眼表面のマネージメント，ドライアイと薬剤起因性角膜障害，埼玉学術講演会，大宮，平成25年5月22日。

山田昌和：ドライアイの治療戦略アップデート，札幌ムコスタ発売1周年記念講演会，札幌，平成25年5月25日。

井上 真：ミニシンポジウム「黄斑疾患の治療と近未来」，外科的治療，第46回日本眼科講演会，東京，平成25年5月25日。

井上 真：「水晶体関係」，第12回硝子体手術ビデオセミナー，東京，平成25年5月26日。

平形明人：乳頭ピット黄斑症候群の硝子体手術経験から病因を考える，第14回奈良県黄斑疾患研究会，奈良市，平成25年5月30日。

井上 真：黄斑下血腫の1例，第4回VR研究会，東京，平成25年5月30日。

山田昌和：Tear Film Oriented Therapy，液層の治療，第7回箱根ドライアイクラブ，小田原，平成25年5月31日。

山田昌和：ドライアイ治療の最新戦略，第5回アイセンターサミット，東京，平成25年6月1日。

山田昌和：治らないドライアイ：摩擦と炎症を忘れてませんか？大塚ライブオンセミナー，東京，平成25年6月6日。

井上 真：Chromovitrectomy の現状、未来，北海道眼科医会生涯教育講座，札幌，平成25年6月15日。

山田昌和：ドライアイの治療戦略アップデート，第2回オキユラーサーフェスセミナー，柏，平成25年6月20日。

松木奈央子，渡辺交世，柳沼重晴，並木泉，永本敏之：硬い核における Ozil Custom Pulse Mode と IP の比較，第28回日本白内障屈折矯正手術学会総会，浦安，平成25年6月27-29日。

柳沼重晴, 中野敦雄, 松木奈央子, 渡辺交世, 二宮夕子, 並木泉, 永本敏之: 真性小眼球症例での白内障手術成績, 第 28 回日本白内障屈折矯正手術学会総会, 浦安, 平成 25 年 6 月 27-29 日.

柳沼重晴, 中野敦雄, 松木奈央子, 渡辺交世, 二宮夕子, 並木泉, 永本敏之: 真性小眼球症例での白内障手術成績, 第 28 回 JSCRS 学術総会, 浦安, 平成 25 年 6 月 27-29 日.

Hiroshi Keino, Yasuhiko Sato, Annabelle A Okada: Retinoic acid receptor-a/b-specific ligand Am80 ameliorates optic neuritis in mice with experimental autoimmune encephalomyelitis. Federation of Clinical Immunology Societies (FOCIS) Boston USA, Jun 27-30. 2013.

井上 真: 行列ができる相談所, 日本眼内レンズ学会, 千葉, 平成 25 年 6 月 28 日.

山田昌和: ドライアイにおける抗炎症療法の役割, ランチョンセミナー, フォーサム 2013, 大阪, 平成 25 年 7 月 12 日.

今野公士<sup>1)</sup>, 柳沼重晴<sup>1)</sup>, 近藤義之<sup>2)</sup>, 忍足和浩<sup>1)</sup> 1)杏林アイセンター<sup>2)</sup>近藤眼科: 涙道内視鏡下シリコーンチューブを再施行した予後不良例の検討, 大阪, 平成 25 年 7 月 12 日.

Inoue M: Image quality of the eye with a premium IOL – Simulation of the retina surgeon's view. Asia-Pacific Association of Cataract and Refractive Surgeons (APACRS), Singapore, July 12-13. 2013.

渡邊交世、慶野博、瀧 和歌子、越前成旭、肥留川京子、岡田アナベルあやめ: 網膜中心静脈閉塞症から抗リン脂質抗体症候群の診断に至った一例, 第 47 回日本眼炎症学会, 大阪, 平成 24 年 7 月 12-13 日.

高瀬博, 大黒伸行, 岡田アナベルあやめ, 後藤浩, 園田康平, 富田誠, 南場研一, 水木信久, 望月學: 急性網膜壊死の診断基準の作成, 第 47 回日本眼炎症学会, 大阪, 平成 25 年 7 月 12-14 日.

慶野博, 渡辺交世, 宮東昭彦, 川上速人, 岡田アナベルあやめ: 実験的自己免疫性ぶどう膜網膜炎(EAU)における眼局所の microRNA の発現, 第 47 回日本眼炎症学会, 大阪, 平成 25 年 7 月 12-14 日.

井之川宗右, 慶野博, 福田憲, 福島敦樹, 岡田アナベルあやめ, 平形明人, 梅澤一夫: ヒト培養角膜線維芽細胞に対する dehydrowymethylepoxyquinomicin (DHMEQ)の抗炎症効果, 第 47 回日本眼炎症学会, 大阪, 2013 年 7 月 12-14 日.

重安千花, 阿久根陽子, 水野嘉信, 大澤浩, 望月弘嗣, 山田昌和: 涙液の薬物動態分析による S-1 角膜障害の検討, 第 2 回日本涙液涙道学会, 大阪, 平成 25 年 7 月 13 日.

西川優子, 重安千花, 山崎梨沙, 山田昌和:角膜真菌症様の所見を呈したまつ毛エクステンションによる角膜浸潤の1例, 第50回日本眼感染症学会、大阪, 平成25年7月13日.

柳沼重晴, 今野公士, 忍足和浩, 鈴木由美, 近藤義之(近藤眼科), 平形明人:涙道内視鏡を用いた小児涙道閉塞の治療経験, 第2回日本涙道・涙液学会総会, 大阪, 平成25年7月13-14日.

井上 真:特別講演, 「小切開硝子体手術入門」, 第9回北関東手術検討会, 宇都宮, 平成25年7月18日.

山本亜希子, 岡田アナベルあやめ, 横田怜二, 吉川泉, 杉谷篤彦:難治性滲出型加齢黄斑変性に対する aflibercept 切り替え後の治療対応, 第30回日本眼循環学会, 東京, 平成25年7月19-20日.

古泉英貴, 山本亜希子, 狩野麻里子, 齋藤昌晃, 丸子一朗, 杉谷篤彦, 岡田アナベルあやめ, 石龍鉄樹, 飯田知弘:滲出型加齢黄斑変性に対するアフリベルセプト硝子体内注射の3カ月治療経過, 第30回日本眼循環学会, 東京, 平成25年7月19-20日.

山田昌和:コンタクトレンズと感染性角膜炎, 第10回自治医科大学さいたま医療センター病診連携クリニカルカンファレンス, さいたま, 平成25年7月20日.

Koto T, Hirukawa K, Inoue M, Hirakata A:FAF findings in case of vitelliform maculopathy. 第2回 Fluorescein Conference in Tokyo(FCIT), 東京, 平成25年7月21日.

井上 真:コンステレーションエリアセミナー名古屋「極める!術中眼圧コントロール」, 名古屋, 平成25年7月21日.

井上 真:極める!術中眼圧コントロール, コンステレーションエリアセミナー名古屋, 名古屋, 平成25年7月21日.

Inoue M: How to treat ILM peeling, to peel or not to peel?, 2013年第六届天津眼科国際中日眼科学術交流会, China, Jun 21-22. 2013.

平形明人:アトピー性皮膚炎に合併する網膜剥離の治療について. 第5回ドライアイ・アレルギージョイントセミナー, 東京, 平成25年7月26日.

井上 真:第17回沖縄眼疾患フォーラム, 「小切開硝子体手術の進歩と適応」, 沖縄平成25年7月27日.

山田昌和：ドライアイの治療戦略アップデート，長崎ムコスタ点眼液発売1周年記念講演会，長崎，平成25年8月3日。

山田昌和：眼科医療の「価値」を評価する，杏林大学オープンカンファレンス，三鷹，平成25年8月7日。

井上 真：LASIK後に網膜剥離になりやすい。Smart Refractive Surgery，第1回JCRSサマナーセミナー，東京，平成25年8月18日。

小沼裕寿<sup>1</sup>，炭谷由計<sup>1</sup>，高橋和人<sup>1</sup>，勝田秀紀<sup>1</sup>，田中利明<sup>1</sup>，西田進<sup>1</sup>，犬飼浩一<sup>1</sup>，板垣英二<sup>1</sup>，石田均<sup>1</sup>，折原唯史，廣田和成，井上真，平形明人（<sup>1</sup>杏林大・糖尿病内分泌代謝内科）：インクレチン関連薬投与における糖尿病網膜症進展抑制に関する観察研究。第19回日本糖尿病眼学会総会，神戸市，平成25年8月23-25日。

前川亜紀<sup>1</sup>，米谷昇子<sup>1</sup>，浅間泉<sup>1</sup>，鳥村祥子<sup>1</sup>，十文字菜穂<sup>2</sup>，小林庸子<sup>2</sup>，渡邊交世，石田均<sup>3</sup>，平形明人（<sup>1</sup>杏林大・看護部，<sup>2</sup>杏林大・薬剤部，<sup>3</sup>杏林大・内科）：眼科領域における造影剤静脈注射専任看護師導入後の現状と課題。第19回日本糖尿病眼学会総会，神戸市，平成25年8月23-25日。

Inoue M, Hirakata A: Macular retinoschisis and detachment associated with normal tension glaucoma. American Society of Retina Specialist (ASRS) meeting 2013 Toronto, Canada, August 25. 2013.

井上 真：自傷行為の1例，第13回信濃町網膜研究会，東京，平成25年8月30日。

山田昌和：コンタクトレンズ，合併症と問題点，東京都眼科医会コンタクトレンズ管理者講習会，東京，平成25年8月31日。

江本宣暢：Werner症候群に網膜分離症様の嚢胞黄斑浮腫を合併した1例，千葉硝子体研究会，幕張，平成25年8月31日。

山田昌和：眼表面のマネジメント，ドライアイと薬剤起因性角膜障害，GIフォーラム in 多摩，立川，平成25年9月4日。

平形明人：乳頭ピット黄斑症候群における眼内液と脳脊髄液の交流の可能性。第166回大分眼科集談会，大分市，平成25年9月7日。

山田昌和：ドライアイの治療戦略アップデート，ドライアイアカデミーin佐倉，佐倉，平成25年9月12日。

江本宜暢：全身投与ができず局所加療で対応した原田病の1例，第2回千葉黄斑研究会，千葉，平成25年9月14日.

山田昌和：ドライアイの自覚症状とQOL，ドライアイシンポジウムイン東京，東京，平成25年9月27日.

井上 真：Fluidics in Vitrectomy. Advanced Vitrectomy Surgery Course，東京，平成25年9月28日.

Hirakata A: Memorial lecture for history of AVS course. Advanced Vitreous Surgery Course, Tokyo, 平成25年9月28-29日.

Hirakata A: Morning glory syndrome. Advanced Vitreous Surgery Course, Tokyo, 平成25年9月28-29日.

井上 真：Fovea-sparing ILM peeling and inverted ILM flap technique for myopia. Advanced Vitrectomy Surgery Course，東京，平成25年9月29日.

久須見有美，柳沼重晴，今野公士，平形明人：杏林アイセンターにおけるLACRIFAST®の使用経験，第56回東京多摩地区眼科集談会，三鷹市，平成25年10月5日.

今野公士：涙道内視鏡治療を中心とした昨今の涙道疾患治療について，東京，平成25年10月9日.

渡辺敏樹：視神経疾患の診療について，多摩南部地域病院勉強会，多摩市，平成25年10月9日.

山田昌和：コンタクトレンズと感染性角膜炎，葛南地区眼科講演会，浦安，平成25年10月10日.

山田昌和：ドライアイの治療戦略アップデート，ドライアイシンポジウムイン信州，軽井沢，平成25年10月12日.

平形明人：糖尿病網膜症治療の現状と課題，第21回武蔵野SDM研究会，武蔵野市，平成25年10月15日.

平形明人：乳頭部先天異常に伴う網膜剥離と鑑別疾患，第33回福岡眼科研究会，福岡市，平成25年10月25日.

井上 真：インストラクションコース, IC-6 さらなる低侵襲小切開硝子体手術を目指して, 25G から 27G へ, 「27G 手術でのワンポイント」, 第 67 回日本臨床眼科学会, 横浜, 平成 25 年 10 月 31 日.

井上 真：アルコンイブニングセミナー, みんなのトーリック、Trick or Toric, 硝子体術者の立場から, 第 67 回日本臨床眼科学会, 横浜, 平成 25 年 10 月 31 日.

江本宜暢, 山添克弥, 鎗田理沙, 笹井英明, 堀田順子, 堀田一樹: VDT 作業におけるジクアホソルナトリウム点眼液の効果, 第 67 回日本臨床眼科学会, 横浜, 平成 25 年 10 月 31 日.

平形明人：MIVS への道, 第 67 回日本臨床眼科学会, 横浜市, 平成 25 年 10 月 31 日-11 月 3 日.

平形明人：Optos だから見逃さなかった！, 第 67 回日本臨床眼科学会, 横浜市, 平成 25 年 10 月 31 日-11 月 3 日.

平形明人：私にとっての unconventional approach 症例の変遷, 第 67 回日本臨床眼科学会, 横浜市, 平成 25 年 10 月 31 日-11 月 3 日.

白濁ゆかり<sup>1</sup>, 福田亘輝<sup>1</sup>, 藤田智純<sup>1</sup>, 森實祐基<sup>2</sup>, 井上真, 平形明人, 白神史雄<sup>2</sup> (<sup>1</sup>香川大・眼科, <sup>2</sup>岡山大・眼科): 網膜細動脈瘤による黄斑下出血に対する t-PA 網膜下注入によるガス血腫移動術, 第 67 回日本臨床眼科学会, 横浜市, 平成 25 年 10 月 31 日-11 月 3 日.

折原唯史, 廣田和成, 横田怜二, 國田大輔, 伊東裕二, 利井東昇, 厚東隆志, 平岡智之, 井上真, 平形明人: アトピー性皮膚炎と鈍的外傷に伴う網膜剥離の比較検討, 第 67 回日本臨床眼科学会, 横浜市, 平成 25 年 10 月 31 日-11 月 3 日.

斎藤恒浩, 廣田和成, 厚東隆志, 井上真, 平形明人: 光干渉断層計によるガス下での黄斑円孔の検出, 第 67 回日本臨床眼科学会, 横浜市, 平成 25 年 10 月 31 日-11 月 3 日.

安藤良将, 平形明人, 横田怜二, 折原唯史, 厚東隆志, 井上真: 強度近視研究会 近視性牽引性黄斑症あるいは黄斑円孔網膜剥離における強膜短縮術の画像解析, 第 67 回日本臨床眼科学会, 横浜市, 平成 25 年 10 月 31 日-11 月 3 日.

慶野博, 中島史絵, 渡辺交世, 瀧和歌子, 岡田アナベルあやめ: 杏林アイセンターにおける小児および若年者のぶどう膜炎の統計, 第 67 回日本臨床眼科学会, 神奈川, 平成 25 年 10 月 31 日-11 月 3 日.

古泉英貴, 狩野麻里子, 山本亜希子, 齋藤昌晃, 杉谷篤彦, 丸子一郎, 石龍鉄樹, 岡田アナベルあやめ, 飯田知弘: 滲出型加齢黄斑変性に対するアフリベルセプト硝子体内注射後の脈絡膜厚変化, 第 67 回日本臨床眼科学会, 神奈川, 平成 25 年 10 月 31 日-11 月 3 日.

狩野麻里子, 山本亜希子, 古泉英貴, 齋藤昌晃, 杉谷篤彦, 丸子一郎, 岡田アナベルあやめ, 飯田知弘, 石龍鉄樹: 典型滲出型加齢黄斑変性に対する aflibercept 硝子体内注射の短期治療成績, 第 67 回日本臨床眼科学会, 神奈川, 平成 25 年 10 月 31 日-11 月 3 日.

山本亜希子, 狩野麻里子, 古泉英貴, 齋藤昌晃, 杉谷篤彦, 丸子一郎, 石龍鉄樹, 飯田知弘, 岡田アナベルあやめ: ポリープ状脈絡膜血管症に対する aflibercept 療法の短期治療成績, 第 67 回日本臨床眼科学会, 神奈川, 平成 25 年 10 月 31 日-11 月 3 日.

山田昌和: ドライアイの薬物療法レビュー, シンポジウム, 第 67 回日本臨床眼科学会, 横浜, 平成 25 年 11 月.

平塚義宗, 川崎良, 小野浩一, 山田昌和, 山下英俊: インストラクションコース, 眼科医のための「数字力」養成講座 3, 第 67 回日本臨床眼科学会、横浜, 平成 25 年 11 月.

小川佳子, 松家清栄, 水野喜信, 角田和繁, 山田昌和: 弱視の治療開始時期と視機能予後に関する多施設共同研究, 第 67 回日本臨床眼科学会, 横浜, 平成 25 年 11 月.

川崎良, 阿久根陽子, 平塚義宗, 山田昌和: マルコフモデルを用いた糖尿病網膜症検診プログラムの費用対効果と有用性評価, 第 67 回日本臨床眼科学会, 横浜, 平成 25 年 11 月.

田村寛, 後藤励, 阿久根陽子, 平塚義宗, 山田昌和: マルコフモデルを用いた加齢黄斑変性検診プログラムの有用性評価, 第 67 回日本臨床眼科学会、横浜, 平成 25 年 11 月.

平塚義宗, 阿久根陽子, 大野京子, 山田昌和: マルコフモデルを用いた病的近視検診プログラムの有用性評価, 第 67 回日本臨床眼科学会, 横浜, 平成 25 年 11 月.

平野慎一郎, 重安千花, 山田昌和: 角膜穿孔を起こした Pearson 症候群の一例, 第 67 回日本臨床眼科学会, 横浜, 平成 25 年 11 月.

中村奈津子, 重安千花, 山田昌和: 眼窩脂肪ヘルニアに対する結膜強膜縫着術の術後成績, 第 67 回日本臨床眼科学会, 横浜, 平成 25 年 11 月.

井上 真: 参天ランチョンセミナー, 後眼部合併症における白内障手術攻略法, 第 67 回日本臨床眼科学会, 横浜, 平成 25 年 11 月 1 日.

井上 真：アルコンイブニングセミナー。ナイトメア、「薄暗闇に光る物体…」，第 67 回日本臨床眼科学会，横浜，平成 25 年 11 月 1 日。

井上 真：「注意一秒、穴一生？」，RETINA の会，横浜，平成 25 年 11 月 2 日。

Suzuki Y, Hama Y, Yoshikawa-Kobayashi I, Tomita K, Inoue M, Hirakata A: Excision of eyelid along eyelash line for ciliary entropion in patients with Down syndrome. American Academy of Ophthalmology 2013 Annual Meeting, New Orleans, USA, November 18-19 2013.

渡辺敏樹，気賀沢一輝，大原有紗，田中恵子，河内泉，高橋利幸，平形明人：抗アクアポリン 4 抗体陽性視神経炎の視神経 MRI 画像および視機能障害の検討，第 51 回日本神経眼科学会，秋田市，平成 25 年 11 月 22 日。

平形明人：糖尿病網膜症治療の現状と課題。第 2 回日本くすりと糖尿病学会学術集会，東京，平成 25 年 11 月 23-24 日。

慶野 博：ワークショップ 7 免疫疾患と動物モデル。ベーチェット病ぶどう膜炎モデル動物を用いた制御性 T 細胞による炎症抑制機構，第 41 回日本臨床免疫学会総会，下関市，平成 25 年 11 月 27 日-29 日。

Inoue M: Macular retinoschisis associated with enlarged optic nerve cup in eyes with normal tension glaucoma, The 10th Japan-Taiwan Joint Meeting, Taipei, November 30, 2013.

Kimihito Konno, Shigeharu Yaginuma, Yoshiyuki Kondo, Yumi Kusumi, Makoto Inoue, Akito Hirakata<sup>1)</sup>Kyorin Eye Center, Tokyo, Japan. <sup>2)</sup>Kondo eye-institute clinic: Direct Endoscopic Probing for Congenital Nasolacrimal Duct Obstruction in 9 Cases. Taiwan, November 30 – December 1, 2013.

Ohtsuki M<sup>1</sup>, Uda S<sup>1</sup>, Inoue M, Hirakata A (<sup>1</sup>Nihonmatsu Eye Hospital): Association between the extent of nonperfusion areas and macular edema in untreated branch retinal vein occlusion. The 8th Asia Pacific Vitreo-Retina Society Congress & the 52th Annual Meeting of Japanese Retina and Vitreous Society, Nagoya, December 6-8, 2013.

Inoue M, Koto T, Hirota K, Kunita D, Orihara T, Hirakata A: Internal limiting membrane peeling for macular retinoschisis associated with normal tension glaucoma. The 8th Asia Pacific Vitreo-Retina Society Congress & the 52th Annual Meeting of Japanese Retina and Vitreous Society, Nagoya, December 6-8, 2013

Otake A, Hirota K, Koto T, Inoue M, Hirakata A: A case of Takayasu arteritis suspected from ocular manifestation as an initial symptom. The 8th Asia Pacific Vitreo-Retina Society Congress & the 52th Annual Meeting of Japanese Retina and Vitreous Society, Nagoya, December 6-8.2013.

Hirota K, Hirakata A, Orihara T, Yokota R, Inoue M: Macular detachment associated with an optic disc pit located on the Supero-Nasal aspect. The 8th Asia Pacific Vitreo-Retina Society Congress & the 52th Annual Meeting of Japanese Retina and Vitreous Society, Nagoya, 2013.12.6-8.

Koizumi H, Kano M, Yamamoto A, Sekiryu T, Okada AA, Iida T: Changes in choroidal thickness after intravitreal injections of aflibercept for exudative age-related macular degeneration: 3-month results, The 8<sup>th</sup> Congress of the Asia-Pacific Vitreoretinal Society, Nagoya, December 6-8. 2013.

Kano M, Yamamoto A, Koizumi H, Iida T, Okada AA, Sekiryu T: Initial clinical outcomes of intravitreal aflibercept for typical age-related macular degeneration, The 8<sup>th</sup> Congress of the Asia-Pacific Vitreoretinal Society, Nagoya, December 6-8. 2013.

Yamamoto A, Kano M, Koizumi H, Sekiryu T, Iida T, Okada AA : Initial clinical outcomes of intravitreal aflibercept for polypoidal choroidal vasculopathy, The 8<sup>th</sup> Congress of the Asia-Pacific Vitreoretinal Society, Nagoya, December 6-8. 2013.

Hiroshi Keino: APVRS Symposium: "Assessment and Treatment of Intraocular Lymphoma "Differential diagnosis and systemic evaluation". 8<sup>th</sup> Asia Pacific Vitreo-retina Society Congress (APVRS), Nagoya, December 6-8. 2013.

Razaei K, Kadonosono K, Oshima Y, Nagpal M, Ruamviboonsk P, Inoue M, Chang A, Okame GT: RETINAWAS, The 8th Asia-Pacific Vitreo-Retina Society Congress. The 52nd Annual meeting of the Japanese Retina and Vitreous Society, Nagoya , December 7. 2013.

Inoue M: RVO cases, 2013 APVRS Novartis Dinner Meeting, Nagoya , December 7. 2013.

平形明人：糖尿病網膜症－内科眼科連携の促進を目指して－. 糖尿病細小血管障害合併症治療研究会(DMTK 会), 倉敷市, 平成 26 年 1 月 16 日.

平形明人：眼球外傷. 平成 25 年度東京都眼科医会卒後研修会, 東京, 平成 26 年 1 月 18 日.

今野公士：眼窩外傷および眼科疾患, 東京都眼科医会平成 25 年度卒後教育講演, 平成 26 年 1 月 18 日.

新井千賀子, 尾形真樹, 田中恵津子, 小田浩一, 岡田アナベルあやめ, 平形明人: ロービジョンケア前後における QOL の変化とケア内容の分析, 日本視覚学会 2014 年冬季大会, 東京, 平成 26 年 1 月 22-24 日.

山田昌和: ドライアイの治療戦略アップデート, 三淀眼科研究会, 大阪, 平成 26 年 1 月 25 日.

山田昌和: コンタクトレンズとドライアイ, 参天記念講演会, 東京, 平成 26 年 1 月 26 日.

山田昌和: 角膜治療最新アップデート, 周術期管理編, ランチョンセミナー, 第 30 回日本角膜学会, 那覇, 平成 26 年 1 月 30 日.

山田昌和: ドライアイに抗炎症は重要か? シンポジウム, 第 30 回日本角膜学会, 那覇, 平成 26 年 1 月 30 日.

山田昌和, 重安千花, 阿久根陽子, 川島素子: SCL 装用者のドライアイに対するジクアホソルナトリウム点眼の効果, 第 30 回日本角膜学会, 那覇, 平成 26 年 1 月 30 日.

堀江大介, 五月女典久, 稲見達也, 山口靖子, 吉野啓, 山田昌和: PKP 後の続発性緑内障に対する EXPRESS 手術の短期経過, 第 30 回日本角膜学会, 那覇, 平成 26 年 1 月 30 日.

斉藤恒浩, 重安千花, 中島史絵, 藤井かんな, 山田昌和: オルソケラトロジーによるアcantアメラ角膜炎, 第 30 回日本角膜学会, 那覇, 平成 26 年 1 月 30 日.

中島史絵, 重安千花, 藤井かんな, 井之川宗右, 阿久根陽子, 山田昌和: 特異な涙液蛋白パターンを示した先天性無涙腺症の 1 例, 第 30 回日本角膜学会, 那覇, 平成 26 年 1 月 30 日.

中村奈津子, 福井正樹, 水野喜信, 重安千花, 山田昌和: Salzmann 角膜変性の 2 症例, 第 30 回日本角膜学会, 那覇, 平成 26 年 1 月 30 日.

重安千花, 阿久根陽子, 川島素子, 山田昌和: SCL 装用者のドライアイに対するレバミピド点眼の効果, 第 30 回日本角膜学会, 那覇, 平成 26 年 2 月 1 日.

山田昌和, 島崎潤, 高村悦子, 木下茂: ドライアイの自覚症状を考える, ムコスタ発売 2 周年記念講演会, 東京, 平成 26 年 2 月 8 日.

平形明人: ビデオセッション〜世話人秘蔵ビデオ公開〜. 硝子体手術フォーラム Winter Vitrectomy Meeting, 北海道虻田郡, 平成 26 年 2 月 14-15 日.

井上 真: アルコンイブニングセミナー「極める! 術中眼圧コントロール」, Winter vitrectomy meeting, ルスツ, 平成 26 年 2 月 14 日.

井上 真：黄斑下血腫に帯する網膜下 t-PA+空気注入術, Winter vitrectomy meeting, ルスツ, 平成 26 年 2 月 15 日.

Takayo Watanabe, Kyoko Hirukawa, Hiroshi Keino, Wakako Taki, Nariaki: Clinical characteristics of patients diagnosed with presumed diabetic iritis. IOIS meeting Valencia, Spain, February 27- March 1.

山田昌和：涙とドライアイ, 確かなこと、不確かなこと, 第 29 回近畿眼科先進医療研究会, 大阪, 平成 26 年 3 月 1 日.

井上 真：Novartis 座談会, 東京, 平成 26 年 3 月 7 日.

山田昌和：ドライアイ診療アップデート, 福井県眼科シンポジウム, 福井, 平成 26 年 3 月 8 日.

柳沼重晴：白内障について. 参天製薬社内学術講演, 立川市, 平成 26 年 3 月 11 日.

山田昌和：ドライアイ診療アップデート, 第 5 回広島眼科セミナー, 広島, 平成 26 年 3 月 15 日.

平形明人：症例から学ぶ眼底疾患アップデート. 第 252 回長野県眼科医会集談会, 松本市, 平成 26 年 3 月 16 日.

平形明人：症例から学ぶ眼底疾患アップデート. 第 43 回京都眼科フォーラム, 京都市, 平成 26 年 3 月 22 日.

井上 真：どげんがせないかん！近視性網膜分離症, 第 12 回おっしょいの会, 福岡, 平成 26 年 3 月 22 日.

Inoue M: Fovea-sparing ILM peeling and inverted ILM flap technique for myopia, 2<sup>nd</sup> Duke Alumni & Friends Night Seminar, Tokyo, March 31. 2014.

## II 論文

Hirakata A, Inoue M, Hiraoka T, McCuen II BW<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Duke University School of Medicine, Department of Ophthalmology Durham, North Carolina): Auther Reply. Ophthalmology 120: 878-879, 2013.

Ito Y, Inoue M, Rii T, Hirota K, Hirakata A: Correlation between foveal cone outer segment tips line and visual recovery after epiretinal membrane surgery. Invest Ophthalmol Vis Sci 54:7302-7308, 2013.

Kawamura R<sup>1</sup>, Shinoda K<sup>1,2</sup>, Inoue M, Noda T<sup>3</sup>, Ohnuma K<sup>4</sup>, Hirakata A<sup>1</sup>(Department of Ophthalmology, Keio Univ., Department of Ophthalmology, <sup>2</sup>Teikyo Univ., Department of Ophthalmology, <sup>3</sup>National Hospital Organization Tokyo Medical Center, <sup>4</sup>Department of Medical System Engineering, Chiba Univ.): Images of intravitreal objects projected onto posterior surface of model eye. *Acta Ophthalmol* 91:e561-566,2013.

Taniuchi S<sup>1</sup>, Hirakata A, Itoh Y, Hirota K, Inoue M<sup>1</sup>(Juntendo Univ., Department of Ophthalmology): Vitrectomy with or without internal limiting membrane peeling for each stage of myopic traction maculopathy. *Retina* 33:2018-2025,2013

斎藤恒浩, 廣田和成, 井上真, 野村昌弘<sup>1</sup>、岡田アナベルあやめ、平形明人 (<sup>1</sup>国家公務員共済組合連合会立川病院眼科) : von Hippel-Lindau 病に伴う傍乳頭血管腫の治療の 2 症例. *日眼会誌* 118:33-39,2014.

Ohno-Matsui K<sup>1</sup>, Hirakata A, Inoue M, Akiba M<sup>2</sup>, Ishibashi T<sup>3</sup> (<sup>1</sup>Department of Ophthalmology and Visual Science, Tokyo Medical and Dental University <sup>2</sup>Topcon Corporation<sup>3</sup>, Department of Ophthalmology, Kyushu University): Evaluation of congenital optic disc pits and optic disc colobomas by swept-source optical coherence tomography. *Invest Ophthalmol Vis Sci* 54:7769-78, 2013.

Rii T, Hirakata A, Inoue M: Comparative findings in childhood-onset versus adult-onset optic disc pit maculopathy. *Acta Ophthalmol* 91:429-33, 2013.

Inoue M, Bissen-Miyajima H<sup>1</sup>, Arai H<sup>2</sup>, Hirakata A<sup>1</sup>(Department of Ophthalmology, Tokyo Dental College Suidobashi Hospital, <sup>2</sup>Minatomirai Eye Clinic): Retinal images viewed through a small aperture corneal inlay. *Acta Ophthalmol*: 92, e168-9, 2014.

Hirota K, Hirakata A, Inoue M: Dehiscence of detached internal limiting membrane in eyes with myopic traction maculopathy with spontaneous resolution. *BMC Ophthalmol* 14: 39, 2014.

Iwahashi-Shima C, Azumi A, Ohguro N, Okada AA, Kaburaki T, Goto H, Sonoda K-H, Namba K, Mizuki N, Mochizuki M: Factors associated with anatomic and visual outcomes in acute retinal necrosis. *Jpn J Ophthalmol* 57:98-103, 2013.

Yamamoto A, Okada AA, Sugitani A, Kunita D, Rii T, Yokota R: Two-year outcomes of pro re nata ranibizumab therapy for exudative age-related macular degeneration in Japanese patients. *Clinical Ophthalmology* 7:757-763, 2013.

Trusko BE, Jabs DA, Thorne JE, Belfort R, Dick AD, Gangaputra S, Nussenblatt RB, Okada AA, Rosenbaum JT and the Standardization of Uveitis Nomenclature (SUN) Working Group: Development of a clinical evidence base utilizing informatics tools and techniques for the standardization of uveitis nomenclature (SUN) project. Methods Inf Med. 52:259-260, 2013.

Okada AA, Jabs DA: The SUN Project: the future is here. *JAMA Ophthalmol* [Editorial] 131:787-789, 2013.

Hirukawa K, Keino H, Watanabe T, Okada AA: Enhanced depth imaging optical coherence tomography of the choroid in new-onset acute posterior scleritis. *Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol* 251:2273-2275.

Taki W, Keino H, Watanabe T, Okada AA: Enhanced depth imaging optical coherence tomography of the choroid in recurrent unilateral posterior scleritis. *Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol* 251:1003-1004, 2013.

Hiratsuka Y, Yamada M, Akune Y, Murakami A, Okada AA, Yamashita H, Ohashi Y, Yamagishi N, Tamura H, Fukuhara S, Takura T: Cost-utility analysis of cataract surgery in Japan: a probabilistic Markov modeling study. *Jpn J Ophthalmol* 57:391-401, 2013.

LEVEL-J Study Group: Maintenance therapy with pegaptanib sodium for neovascular age-related macular degeneration: an exploratory study in Japanese patients (LEVEL-J study). *Jpn J Ophthalmol* 57:417-423, 2013.

Wolf S, Balciuniene VJ, Laganovska G, Menchini U, Ohno-Matsui K, Sharma T, Wong TY, Silva R, Pilz S, Gekkieva M on behalf of the the RADIANCE Study Group (including AA Okada): RADIANCE: A Randomized Controlled Study of Ranibizumab in Patients with Choroidal Neovascularization Secondary to Pathologic Myopia. *Ophthalmology* (in press).

Kaburaki T, Namba K, Sonoda K, Kezuka T, Keino H, Fukuhara T, Kamoi K, Nakai K, Mizuki N, Ohguro N and the Ocular Behcet Disease Research Group of Japan (including AA Okada): Behcet's disease ocular attack score 24: evaluation of ocular disease activity before and after initiation of infliximab. *Jpn J Ophthalmol* (in press).

Tano T, Ono K, Hiratsuka Y, Fukuhara S, Murakami A, Yamada M: Prevalence of pterygium in a population in Northern Japan: The Locomotive Syndrome and Health Outcome in Aizu Cohort Study. *Acta Ophthalmologica.* 2013;91:e232-e236.

Hiratsuka Y, Akune Y, Yamada M, Eye Care Comparative Effectiveness Research Team (ECCERT) : Cost-utility analysis of cataract surgery in Japan: a probabilistic Markov modeling study. *Jpn J Ophthalmol* 2013;27:391-401.

Araki-Sasaki K, Hirano K, Osakabe Y, Kuroda M, Kitagawa K, Mishima H, Obata H, Yamada M, Maeda N, Nishida K, Kinoshita S: Classification of secondary corneal amyloidosis and involvement of lactoferrin. *Ophthalmology* 2013;120:1166-1172.

Shigeyasu C, Hirano S, Akune Y, Mochizuki H, Yamada M: Evaluation of the frequency of ophthalmic solution application: washout effects of topical saline application on tear components. *Curr Eye Res.* 2013;38:722-728.

Fukuhara S, Wakita T, Yamada M, Hiratsuka Y, Green J, Oki K: Development of a Short Version of the Visual Function Questionnaire Using Item-Response Theory. *PLoS ONE* 2013;8: e73084.

杉山沙織, 小川佳子, 大出尚郎, 仁科幸子, 山田昌和 : 周期性内斜視術後に間欠性外斜視を呈した成人の1例. *眼臨紀要* 6:979-982. 2013

田中宏樹, 重安千花, 谷井啓一, 渡辺健, 春畑裕二, 秋山邦彦, 山田昌和 : Bacillus 属による遅発性濾過胞感染に伴う眼内炎の1例. *あたらしい眼科* 30: 385-389. 2013

山田昌和. ドライアイ治療の最新戦略. *東京都医師会雑誌* 66:246-252. 2013

山田昌和 : ドライアイ、新規薬剤の位置付け. *Medicament News* 2127:8-9. 2013

山田昌和 : ドライアイの点眼治療. *眼科* 55:805-811. 2013

山田昌和 : 白内障手術の効用. *眼科手術* 26:415-418. 2013

平塚義宗, 山田昌和, 阿久根陽子, 村上晶, 山下英俊, 大橋裕一 : マルコフモデルを利用したシミュレーション研究と白内障手術の費用対効果. *日眼会誌* 117:766-770. 2013

小幡博人, 堀裕一, 山田昌和, 横井則彦 : 困った目の不定愁訴はこうして解決する. *あたらしい眼科* 31:225-229. 2014

Taniuchi S, Hirakata A, Itoh Y, Hirota K, Inoue M. Vitrectomy with or without internal limiting membrane peeling for each stage of myopic traction maculopathy. *Retina.* 2013 Nov-Dec;33(10):2018-25.

Hirukawa-Nakayama K, Hirakata A, Tomita K, Hiraoka T, Inoue M. Increased choroidal thickness in patient with high-altitude retinopathy. *Indian J Ophthalmol*. 2013 Sep 6. [Epub ahead of print]

Hirota K, Hirakata A, Inoue M. Dehiscence of detached internal limiting membrane in eyes with myopic traction maculopathy with spontaneous resolution. *BMC Ophthalmol* 2014 March 29;14:39.

Inoue M, Bissen-Miyajima H, Arai H, Noda T, Ohnuma K, Hirakata A. Image quality of grating target in model eye when viewed through small aperture corneal inlay. *J Cat Refract Surg* (in press)

Ideta S, Ota Y, Yuki K, Noda M, Inoue M, Tsubota K. Evaluation of surgical outcomes for ptosis surgery by face recognition software. *Asia-Pacific J Ophthalmol* (in press).

Matsumoto-Otake A, Hirota K, Koto T, Inoue M, Hirakata A. Thickened retinal ganglion cell complex in patient with severe Takayasu retinopathy at early stage. *Retinal Cases & Brief Reports* (in press).

Inoue M, Uchida A, Shinoda K, Taira Y, Noda T, Ohnuma K, Bissen-Miyajima H, Hirakata A. Images created in model eye during simulated cataract surgery can be basis for images perceived by patients during cataract surgery. *Eye (Lond)* (in press)

Itoh Y, Inoue M, Rii T, Ando Y, Hirakata A. Asymmetrical recovery of cone outer segment tips line and foveal displacement after successful macular hole surgery. *Invest Ophthalmol Vis Sci* (in press)

Suzuki Y, Hama Y, Yoshikawa-Kobayashi I, Tomita K, Inoue M, Hirakata A. Eyelash line resection for ciliary entropion in patients with Down's syndrome. *Br J Ophthalmol* (in press)

柴田朋宏、井上 真、廣田和成、平岡智之、平形明人、大槻勝紀、宇多重員：眼内レンズ縫着術後に生じた後眼部合併症の臨床的特徴。 *日眼会誌* 117(1), 19-26, 2013.

満川忠宏、柳沼重晴、今野公士、井上真、渡邊敏樹、気賀沢一輝、石田正、大石知瑞子、平形明人：水痘・帯状疱疹ウイルス感染を契機とした眼窩先端部症候群の1例。 *眼科* 55(13), 1635-1640, 2013.

野崎 実穂、鈴間 潔、井上 真、川崎 良、喜田 照代、高村 佳弘、長岡 泰司、村上 智昭、吉田 茂生：日韓糖尿病網膜症研究グループ。日韓糖尿病網膜症治療の現状についての比較調査。 *日眼会誌* 117 : 735-742, 2013.

斎藤恒浩、廣田和成、井上真、野村晶弘、岡田アナベルあやめ、平形明人： von Hippel-Lindau 病に伴う傍乳頭血管腫に対し光凝固を施行した 2 症例。日眼会誌 118( 1): 33- 39, 2014.

Kaburaki T, Namba K, Sonoda KH, Kezuka T, Keino H, Fukuhara T, Kamoi K, Nakai K, Mizuki N, Ohguro N: Ocular Behçet Disease Research Group of Japan. Behçet's disease ocular attack score 24: evaluation of ocular disease activity before and after initiation of infliximab. Jpn J Ophthalmol. 2014;58:120-30. doi: 10.1007/s10384-013-0294-0

Keino H, Watanabe T, Sato Y, Shudo K, Kitaoka Y, Harada T, Okada AA: Retinoic acid receptor stimulation ameliorates experimental autoimmune optic neuritis Clin Experiment Ophthalmol. 2014 Mar 10. doi: 10.1111/ceo.12308.

Sugita S, Kawazoe Y, Imai A, Kawaguchi T, Horie S, Keino H, Takahashi M, Mochizuki M: Role of IL-22- and TNF- $\alpha$ -producing Th22 cells in uveitis patients with Behçet's disease. J Immunol. 2013 ;190:5799-808.doi: 10.4049/jimmunol.1202677.

渡辺交世, 松木奈央子, 柳沼重晴, 永本敏之：先天白内障の角膜乱視。日本眼科学会雑誌 118 : 98-103, 2014.

### III 著 書

平形明人：黄斑疾患：黄斑円孔。落合慈之，平形明人監：眼科疾患ビジュアルブック，学研，東京，2013. p. 205-208.

平形明人：黄斑疾患：黄斑上膜。落合慈之，平形明人監：眼科疾患ビジュアルブック，学研，東京，2013. p. 209-211.

平形明人：網膜色素変性症（杆体錐体ジストロフィ）。落合慈之，平形明人監：眼科疾患ビジュアルブック，学研，東京，2013. p. 226-229

平形明人：網膜症治療の現状と課題。月刊糖尿病 Vol.5 No.1, 医学出版，東京，2013. p. 61-69.

平形明人：網膜剥離。疾患・症状別今日の治療と看護 改訂版 3 版，南江堂，東京，2013. P. 1372-1376.

平形明人：乳頭ピット黄斑症候群。瓶井資弘編：専門医のための眼科診療クオリファイ 17 裂孔原性網膜剥離—How to treat, 中山書店，東京，2013. p.259-267.

平形明人：乳頭ピット黄斑症候群. 飯田知弘編：専門医のための眼科診療クオリファイ 18 眼底 OCT のすべて, 中山書店, 東京, 2013. p.100-106.

平形明人：糖尿病網膜症. 香川靖雄, 近藤和雄, 石田均, 門脇孝編：人体の構造と機能及び疾病の成り立ち各論 改訂第2版, 南江堂, 東京, 2013. p.25-32.

落合慈之, 平形明人, 永本敏之, 岡田アナベルあやめ, 井上真, 小田仁：眼科疾患ビジュアルマップ. 学研メディカル秀潤社, 東京, 2013.

山田昌和：点状表層角膜症. 眼科疾患最新の治療 2013-2015. 大橋裕一, 白神史雄編. 南江堂, 2013. p.48-49.

山田昌和：薬剤毒性角膜症. 眼科疾患最新の治療 2013-2015. 大橋裕一, 白神史雄編. 南江堂, 2013. p.107.

山田昌和：成人斜視手術の適応と限界. 斜視手術. 若倉雅登, 石川均編. 金原出版, 2013. p.12-18.

山田昌和：斜視術後の整容的な不満足. 斜視手術. 若倉雅登, 石川均編. 金原出版, 2013. p.102-104.

山田昌和：結膜弛緩症（単純型）結膜切除を行わない方法. 眼手術学 4.角膜・結膜・屈折矯正. 西田幸二, 横井則彦, 前田直之編. 文光堂, 2013. p.296-299.

山田昌和：涙液油層の構築とその機能. 眼科診療クオリファイ 19. ドライアイスペシャリストへの道. 横井則彦編. 中山書店, 2013. p.30-31.

山田昌和：リン脂質はマイボーム腺から分泌されていないって本当ですか. 眼科診療クオリファイ 19. ドライアイスペシャリストへの道. 横井則彦編. 中山書店, 2013. p.32-33.

山田昌和：涙液のターンオーバーとその異常. 眼科診療クオリファイ 19. ドライアイスペシャリストへの道. 横井則彦編. 中山書店, 2013. p.69-71.

山田昌和：コンタクトレンズ装用眼の涙液のターンオーバーはどうなりますか. 眼科診療クオリファイ 19. ドライアイスペシャリストへの道. 横井則彦編. 中山書店, 2013. p.72-73.

山田昌和：20章, 眼疾患. 今日の処方, 改訂第5版, 浦部晶夫, 大田健, 川合真一, 島田和幸, 菅野健太郎編. 南江堂, 2013. p.1103-1111.

山田昌和：結膜弛緩症. 眼科外来処置・小手術クローズアップ, 江口秀一郎編. メジカルビュー社, 2014. p.82-83.

井上 真：増殖糖尿病網膜症の治療/硝子体手術の治療と予後，専門医のための眼科診療クオリファイ 16 糖尿病眼合併症の新展開，中山書店，2013 年 2 月 P82-86.

井上 真：眼内腫瘍（網膜芽細胞腫、脈絡膜腫瘍ほか），眼科ビジュアルブック，学研，2013 年 4 月.

井上 真：強膜内観術/網膜下液排液，専門医のための眼科診療クオリファイ 17 裂孔原性網膜剥離—How to treat，中山書店，2013 年 6 月 P125-129.

井上 真：眼内レンズの特殊な使用法，眼内レンズ強膜縫着術，専門医のための眼科診療クオリファイ 20 眼内レンズの使いかた，中山書店，2014 年 1 月 P225-232.

井上 真：網膜外層所見と視機能，ここを活かそう！OCT，OCULISTA，全日本病院出版会，2013 年 5 月 p40-46.

井上 真：コーツ病の光凝固治療，光凝固療法実線マニュアル，OCULISTA，全日本病院出版会，2013 年 6 月 p71-74.

井上 真：黄斑上膜の治療，黄斑円孔・上膜の病態と治療，OCULISTA，全日本病院出版会，2013 年 5 月 p16-22.

慶野 博：ぶどう膜炎の眼科検査所見，Monthly Book OCULISTA No.5 ぶどう膜炎外来診療，竹内 大，東京，全日本病院出版会，2013，p9-16.

慶野 博：Chapter 8 強膜疾患 強膜炎、上強膜炎，眼科疾患ビジュアルブック，平形明人，東京，学研メディカル秀潤社，2013，p145-148.

慶野 博：Chapter 12 後眼部疾患・ぶどう膜炎，眼科疾患ビジュアルブック，平形明人，東京，学研メディカル秀潤社，2013，p177-191.

慶野 博：急性前部ぶどう膜炎，眼科臨床エキスパート 所見から考えるぶどう膜炎，園田 康平、後藤 浩，東京，医学書院，2013，p142-149.

慶野 博：サルコイドーシス原田病，眼科疾患最新の治療2013-2015，大橋裕一、白神史雄，東京，南江堂，2013，p242.

慶野 博：原田病，眼科疾患最新の治療2013-2015，大橋裕一、白神史雄，東京，南江堂，2013，p244.

慶野 博：左眼充血、眼痛、下肢関節痛も伴う症例，眼科診療のピットフォール，松本長太，京都，金芳堂，2013. p99-102.

鈴木由美，富田香，今野公士：眼球付属器の構造と機能，眼科ビジュアルブック，学研，2013年4月.

鈴木由美，富田香：斜視，眼科ビジュアルブック，学研，2013年4月.

鈴木由美，富田香：弱視，眼科ビジュアルブック，学研，2013年4月.

鈴木由美，富田香：眼組織の発生と分化，眼科ビジュアルブック，学研，2013年4月.

鈴木由美，富田香：先天異常の原因と種類，眼科ビジュアルブック，学研，2013年4月.

渡辺交世：Chapter 1 眼球の構造と機能 中間透光体，眼科疾患ビジュアルブック，平形明人，東京，学研メディカル秀潤社，2013. P5.

渡辺交世：Chapter 9 水晶体疾患，眼科疾患ビジュアルブック，平形明人，東京，学研メディカル秀潤社，2013. P149-155.

渡邊交世：梅毒・結核，眼科疾患最新の治療 2013-2015. 大橋裕一、白神史雄，東京，南江堂，2013. p238.

#### IV 特許等知的財産関係、報告書

平形明人：黄斑下手術の現状と課題，平成 24 年度次世代医療機器評価指標作成事業 再生医療審査 WG 報告書，2013. p.37-53.

平成 25 年度厚生科研医療機器開発研究事業「読書が可能な人工視覚システム（脈絡膜上-経網膜電気刺激(STS)法の実用化(H24-医療機器-一般-004)報告書，2014.

#### V その他

平形明人：恩師を語る，銀海 No. 222，千寿製薬株式会社，東京 2013. p.30-31.

平形明人：現場を知り、空気を読める人に，「医師の心を開く対話術」佐藤望著，幻冬舎，東京，2013. p.156-164.

平形明人：糖尿病網膜症治療の現状と課題. 第 227 号目黒区医師会 会報, 目黒区医師会, 東京, 2013. p.1.

平形明人：糖尿病網膜症の最新治療—糖尿病網膜症に対してどう向き合えばよいのか—. ベンチのーと vol24, No2, メディカル・ジャーナル社, 東京, 2013. p.12-13.

平形明人：病的近視の診断・治療と今後の課題 ラニビズマブの果たすべき役割. 病的近視における CNV 座談会, ノバルティスファーマ株式会社 日本アルコン株式会社, 東京, 2013.

平形明人：老化現象？それとも病気のサイン？飛蚊症. きょうの健康, NHK 出版, 東京, 2014. p.80-84.

平形明人：Optos だから見逃さなかった. 第 67 回日本臨床眼科学会 セミナーレポート, Chuo Sangio Times vol., 中央産業貿易株式会社, 東京, 2014. p.6.

岡田アナベルあやめ：加齢黄斑変性についてのインタビュー, 日系 CNBC ニュース, 平成 26 年 2 月 24 日.

慶野 博：文部科学省 科学研究費補助金 基盤研究 C (平成 23 年度-平成 25 年度)レチノイドを用いた眼炎症疾患における視神経、神経網膜保護の試み.

伊東裕二, 井上真, 利井東昇, 廣田和成, 平形明人：黄斑前膜術後における中心窩錐体細胞外節端の修復と視力回復との関係, 日本眼科学会雑誌, 外国誌要覧, 118 : 303, 2014.

柳沼重晴：第 28 回 JSCRS 学術総会賞 (Best of Cataract Surgery).

柳沼重晴：「東京多摩地区眼科集談会」の歩み, 眼科臨床紀要 7(3) : 234-235, 2014.

渡邊交世：日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究 (B) (平成 24 年度-平成 25 年度) マイクロ RNA を標的とした難治性網膜ぶどう膜炎の炎症制御の可能性.